

参加者数：48名

回答者数：36名

回答率：75%

1. あなたの年代は？

①50代 (4名) ②60代 (12名) ③70代 (15名) ④80代 (2名) ⑤90代 (0名) ⑥その他 (3名)

2. 在宅医療を知っていましたか？

①知っていた (15名) ②知らなかった (21名)

3. 在宅医療を知っていた方。どのようにして知りましたか？（複数回答あり）

- ・メディア（テレビ報道番組、ラジオ、雑誌） 10
- ・「渡る世間は鬼ばかり」のドラマ
- ・知り合いが利用（親戚、知人） 3
- ・市のパンフレット、広報誌 2
- ・研修会、講演 2
- ・人のうわさ
- ・最近話題になっている

4. 在宅医療について関心を持ちましたか？

①はい (29名) ②いいえ (4名) 未回答 (3名)

5. どのようなことが印象に残りましたか？

- ・数年後に有料介護施設に入りたいと思っている。身内が遠方なので、どうしても不安になる事がある。（80代）
- ・とても身につまされて、暗ーい気持ちになりました。（70代）
- ・在宅医療の必要性（70代）
- ・今後は在宅医療をする人が増えると思います。本人や家族にとっても良い事だと思います。知人が2年前に利用されて見ていたが、とっても連帯感があって良いと思いました。（70代）
- ・考えても難しい（70代）
- ・在宅医療をして死にたい。（70代）
- ・自分らしい最期を迎える。（70代）
- ・考えさせられました。（70代）
- ・訪問診療の事（70代）
- ・在宅療養チームの存在（70代）
- ・病院で過ごすよりは自宅でというのは、皆の希望なんだなあ～と思いました。理想の形です。（60代）
- ・家族で話をする。母が90才なので、病院の話は良くわかりました。（60代）
- ・病院と地域の分担、棲み分け
在宅医療がどこまで可能か
自分の病気と向き合い方、終末の迎え方（60代）
- ・自分の最後をどう迎えたいかを話し合っておく事ということが印象に残りました。在宅医療に否定的でしたが、少し考えが変わりました。（60代）
- ・母が在宅希望なので、話し合いが必要と痛感しました。人事ではなく、自分、子供の為にも、話し合いをしたいと思います。
※この件は、回覧板等で是非周知してほしいです。（60代）
- ・沢山の専門家の方が関わっていらっしゃる事。相談の場が多いこと。料金のこと。終末を考える人生会議（60代）
- ・年をとるのが不安になります。（60代）
- ・自分で自分の最後を決定する事は大切だ。でも難しい問題です。（60代）
- ・今まで時々主人と二人では話したりしましたが、子供達には伝えていないので、今後話の場をもち、自分達の希望を話しておくこと。その他、終活を伝えておくことを実行したいと思います。（60代）

- できる限り、本人の希望するなら、在宅をと考えました。（主人の事です）（50代）
- 家族での話し合いは大切だと思う（50代）
- 自分の事を考えなければと思いました。（50代）
- 今後のことを考えました。（その他）
- 病床減、在宅医療に移行、訪問診療（その他）

6. 今後、あなたは在宅医療を受けようと思いましたが。

①はい
（ 18名 ）

②いいえ
（ 8名 ）

未回答
（ 5名 ）
迷う、まだ分からない
（ 5名 ）